

アラカルト

協同組合秋田卸センター 係長

梶原明子さん
kajiwara akiko組合士を目指して、
そして今

協同組合秋田卸センターは昭和45年に設立し今年7月に45周年を迎え、主に卸売業を中心に小売、サービス、印刷業で構成されています。

私が組合士検定を受検したのは事務局に入って2年目の平成16年、当時の上司から「組合士の資格は絶対持っていたほうがいい。組合のことを学べるいい機会にもなるから受けてみなさい」と言われたからでした。

●受験から合格まで

勉強するにあたり「過去問題を繰り返しやるといいよ」とアドバイスをいただいたのでその通り取り組みました。私にとって会計と制度は覚えるだけだったのでよかったのですが、運営は問題の傾向もその年ごとに違うし組合での実務経験が少ないと難しいと感じました。ちなみに、論文は思い切って各科目4種類ずつ模範解答を丸暗記しました。解答用紙に書き、声に出して読み、を繰り返すことで一字一句間違いないよう頭にたたき込みました。

しかし残念ながら一発合格はできず、翌年は出産後間もなかったので受験するのをやめ、さらに翌年の3年目でなんとか合格できました。

その年は勉強しようにも家では家事・育児で時間がとれなくて昼の休憩時間にしか勉強できませんでしたが、かえって短時間に集中したことがよかったのかもしれない。秋田県中央会の対策講座で勉強するポイントを教えていただいたのも大きかったと思います。

●組合士として

さて、晴れて組合士の仲間入りをしたものの、私のゴールは「合格」でしたので、ここからが問題でした。ありがたいことに資格手当をいただけることになりましたが、業務内容に変わりはありません。具体的に何をしたらいいのか？そう思いつつ仕事をしていると、今まで何げなく発送していた文書や総会の進行など「こういうことだったのか」と思えることが多くなり、これまでより仕事が楽しくなりました。

それと幸運なことに、組合士の大先輩であり秋田県中小企業組合士会の堀川会長と同じ事務局で仕事ができ、普段の仕事のなかで多くを学ばせていただいています。

今年、全国組合士協会連合会会長表彰をいただきました。大変光栄である反面、私よりもふさわしい方がたくさんいらっしゃったのではないかという思いもあり、皆様の期待に応えられるようにと改めて感じているところです。

秋田県の組合士会では年に数回研修会が開催されていて、マイナンバー制度といった旬なものや心理学など幅広い分野のテーマが用意されています。交流会にも多くの方々が参加され交流を深められているようです。私はあまり参加できずにいますが、懇親会では皆さんとても和気あいあいと「異業種交流」をされています。

●職員全員組合士を目指して

「1組合1組合士」と言われますが、現在当事務局では「職員全員組合士」を目指しています。忙しい中での受験は大変だと思いますが、自分の成長のためにチャレンジしていただきたいです。